

ゴミが減っています！

# 十和田市のゴミの現状

平成22年度に市内から排出されたごみの量は約24,270トン（図1）で、そのうち約1割がリサイクルとして再利用されています（図2）。年度別ごみ排出量（図3）の推移をみると、市民の皆さんのご協力により、ごみの減量化が着実に進んでいます。引き続き、ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

問 生活環境課 ☎ 6726

図1：平成22年度ごみ総排出量種類別（速報値）

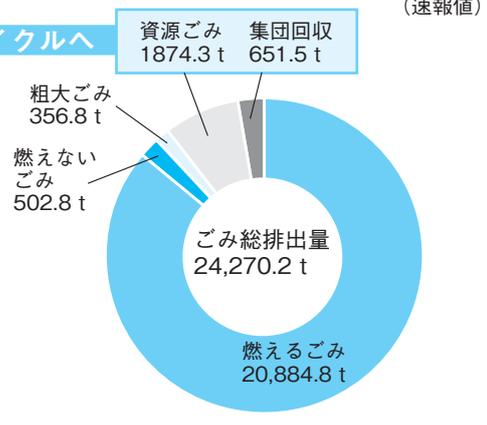
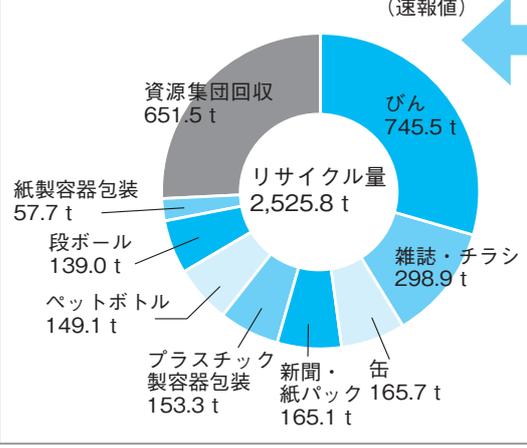


図2：平成22年度リサイクル量（速報値）



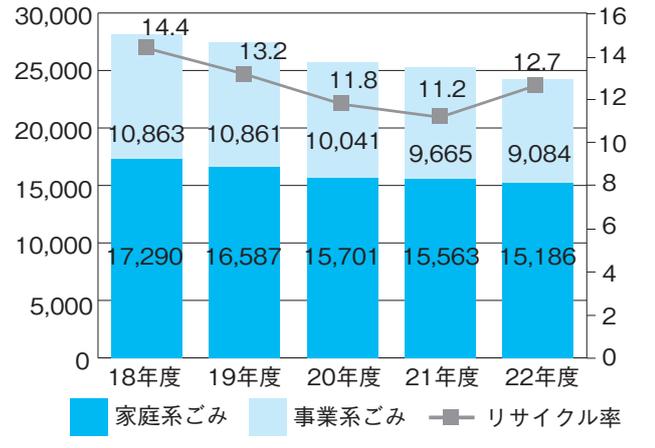
リサイクルへ

## ■ごみ減量のポイント■ 生ごみを減らそう！

家庭から出る燃えるごみの約3割は生ごみです。生ごみを減らすため、次のことに注意しましょう。

- ①生ごみを捨てる時、よく水を切りましょう。
- ②冷蔵庫の中を定期的にチェックし、消費期限切れの食材を出さないようにしましょう。また、食材を買い過ぎないように注意しましょう。

図3：年度別ごみ排出量とリサイクル率



## みんなで声かけ いのちを守る とわだセーフコミュニティ



Safe Community

### セーフコミュニティ認証2周年記念事業！ とわだ安全安心なまちづくり研修会

市は平成21年8月に世界保健機関（WHO）のセーフコミュニティの認証取得後、市内の医療機関、救急搬送のデータを蓄積してきました。研修会では身近に起きている事故やけがの特徴を分析し、自らできる予防対策や安全安心なまちづくり「セーフコミュニティ」について考えます。

とき 9月22日(休) 13:15~16:30  
ところ 市民文化センター

#### ▶第1部 (13:15~14:10)

「いのちを守るセーフコミュニティ・国内外の取り組み」

講師：アジアセーフコミュニティコーディネーター・大妻女子大学教授（前上十三保健所長）反町 吉秀さん



#### ▶第2部 (14:15~15:20)



「事故やけがのデータをもとに自らできる事故予防対策」

講師：筑波大学大学院人間総合科学研究科教授 市川 政雄さん

#### ▶第3部 (15:30~16:15)

「ほほえみ来て来て講習会（寸劇ほか）寄り添ってほほえむことから始めよう」

講師：青い森のほほえみプロデュース上北地区会員 定員 200人

申し込み期限 9月12日(月)

※5歳児未満のお子さんを託児します。ご利用のかたは申し込み時にお知らせください。

申 セーフコミュニティ推進室 ☎ 6777

#### 9月11日は警察相談の日

警察の相談ダイヤル「#9110」をご利用ください 問 十和田警察署 ☎ 3195

電話番号 #9110、017-735-9110

#### 主な相談内容

事件や事故に関する相談や今後事件に発展する恐れのある暴力（DVなど）、ストーカー、高金利、サイバー犯罪、薬物乱用、振り込め詐欺など

※「ヤングテレホン」「DV・ストーカー相談」「性犯罪被害110番」などの相談窓口も開設しています。

※相談は24時間受け付けています。夜間や祝日は当直の警察官が対応します。

※110番は事件事故を通報する緊急電話ですので、相談は#9110番に電話してください。